

SULZER

メディア・リリース（2019年8月29日）

Sulzer Mixpac、正式事実審理（trial）にて勝訴、「Candy Color」関連商標の模倣に対して二百万米ドルの損害賠償が認められる

正式事実審理により、ニューヨーク南部地区連邦地方裁判所は、A&N Trading社（A&N Trading Co.）、A&N Trading社（A&N Trading Co. Ltd.）及びSung Bin An被告に対するSulzer Mixpac社（Sulzer Mixpac AG）の請求を認容し、二百万米ドルの損害賠償を認め、将来の侵害に対する恒久的差止めを命じる判決を出した。



Sulzer Mixpac社は、「2016 Greater New York Dental Meeting（以下、GNYDM）」の出展者であったA&N Trading社が、Sulzer Mixpac社の登録商標「Candy Colors」（同社の「Candy Color」関連商標には黄色、青緑色、青色、ピンク色、紫色及び茶色が含まれる）を使用した歯科用ミキシングチップを展示した後、当該GNYDMの期間中に本件訴訟を提起した。

その後、Sulzer Mixpac社は、このミキシングチップが韓国のSeil Global社によって製造されたものであることを知った。Seil Global社は以前、同連邦地方裁判所から、特定のミキシングチップの提供を禁じられている。Seil Global社の従業員であったSung Bin An被告は、2016年のGNYDMの期間中に侵害品であるミキシングチップを展示した。An被告は、Seil Global社のCEO兼社長の息子でもある。地裁は、An被告の会社であるA&N Trading社（A&N Trading Co.）及びA&N Trading社（A&N Trading Co. Ltd.）が、Seil Global社の分身であったことも認定した。

被告は、ミキシングチップの別の位置で「Candy Colors」を使用することは侵害に当たらないという妥当とは言えない主張をした。地裁は、Sulzer Mixpac社のCandy Colorsが同社の歯科用システムについて強力な商標であること、また被告によるCandy Colorsの使用には混同惹起の意図があったことを確認した。

地裁は、被告の侵害が故意であったと認定し、Sulzer Mixpac社に対する二百万米ドルの法定損害賠償を認めた。さらに地裁は、An被告、同被告の会社又はSeil Global社が、歯科用ミキシングチップについてSulzer Mixpac社のCandy Colorsを侵害的態様で使用するのを恒久的に禁止する命令を出した。

告訴されたミキシングチップの例（黄色、青緑色及び青色）を以下に示す：



連絡先

M a r i e l l a D e v r i e n t

(マリエラ・デバラント)

P R & S o c i a l M e d i a M a n a g e r

(広報およびソーシャルメディアマネージャ)

電話 : + 4 1 8 1 7 7 2 2 1 3 0

S u l z e r M i x p a c A G

R u e t i s t r a s s e 7

S w i t z e r l a n d

(スイス連邦、リュチシュトラーセ 7)